

TOMIYA UNESCO NEWS LETTER

令和5年度 第2号 ユネスコ企画部発行 2023年7月



ESD講演会(国際分野)(5月25日実施)

5月25日に、「MIA 国際理解教育支援事業」を活用して、各クラスで講師の方々から講演をいただきました。講師には、宮城県在住の7名の外国の方をお招きしました(カザフスタン、マレーシア、バングラデシュ、スロベニア、ブラジル、オーストラリア、ルーマニア)。この講演を通して、ESDの観点から異文化を尊重する態度や、異なる文化を持った人々と交流し、共に生きていく資質や能力を育むことができました。

講演にあたって、始めに各クラスのユネスコ委員が予め調べた講師の方の出身国について、各クラスでプレゼンテーションを行いました。各国の地理的な位置や首都、国旗、気候、言語、宗教などが触れられており、その国を事前に理解する上では大変参考になるものでした。また、講師の先生方からは自国において深刻な問題になっているSDGsの事情や、母国語と日本語のつながりについて両国の歴史を踏まえた紹介もあり、とても印象深い講演会となりました。

1学年の生徒全員が異文化を体験し、ESDの観点からこれを尊重する態度や、異なる文化を持った人々と共に生きていく資質や能力の必要性について考えることができた大変良い機会となりました。講話の後には、グループ毎に多くの質問が飛び交うなど、積極的な姿勢が見られ、活発な雰囲気のある講演会となりました。

【生徒の感想を一部紹介します。】

・違う文化の人の話を聞いて、今まで知らなかった国のことをたくさん知ることができました。日本とは全く異なることもあり、他国の文化について興味を持ったので、調べてみたいです。近年では日本にもたくさんの外国の方がいるので、その方々の出身国の文化がどういう文化なのか知っておくことが大切だと思いました。

・元々知っていたことに加え、さらに新しい知識を得ることが出来て、とてもためになりました。現地の人から文化についてインターネットで調べたこととは違う生の声が聞けて、とても楽しかったです。これからの授業で今回学んだことを活かしつつ、もっとその国について調べてみたいと思いました。

・名前は知っていても、まだまだ知らない国の文化や特徴があり、日本の文化との相違点などを探するのが楽しかったです。世界は広いので、もっと色々な国の名前や文化を知って、たくさんの世界を知っていきたいと思いました。



ESD講演会(人文分野) (6月29日実施)

演題:「届けよう服のチカラ」

講師:清水裕紀氏・山形颯人氏・伊藤優空氏

1年生を対象に、難民支援のプロジェクトを行っているユニクロ・GUから3名の講師をお招きし、“届けよう服のチカラ”プロジェクトについて、講演をしていただきました。“届けよう服のチカラ”プロジェクトとは、難民の子どもたちへの支援として、着なくなった子供服を回収し、届けていくことを通して、SDGs12「つかう責任・つくる責任」への貢献を目指すものです。3名の講師の方によるプレゼンでは豊富なスライドを丁寧に説明していただき、普通の人以上に難民に必要なものは「衣・食・住」であり、その中の「衣」をサポートする UNHCR(国連難民高等弁務官事務所)との共同活動の取り組みを紹介してもらいました。質疑応答では、仕事に関することやこのプロジェクトの今後の課題についてなど、生徒から様々な質問があり、深まりのある講演会となりました。最後に代表生徒から「我々も微力ながら貢献したい」と力強い誓いの言葉がありました。



【生徒の感想を一部紹介します。】

・今日の講演の中で、集まった服を子供達に届けに行く映像がすごく印象的でした。服をもらって、鏡に映った自分達の姿を見て喜ぶ姿がとてもかわいいと思うとともに、少し悲しくも感じました。日々、辛い生活を送っている子供達に、私たちがアクションを取ることで笑顔をこんなにも増やせるのだと感じ、私たちにできることを精一杯してあげたいと思いました。改めて“服のチカラ”というものを感じることができました。

・もともと GU やユニクロで難民のために服を集めていることは知っていましたが、細かいところまでは知らなかったので、この機会に知ることができて良かったです。1億人以上の難民がいて、その中でも半分は18歳以下だということに驚きを感じました。動画で見たように遠く離れた人とも自分が着ていた服を通して繋がることができるということを知って、とても嬉しく思いました。小学生の時に富谷高校の先輩が来て“服のチカラプロジェクト”について話してくれたことを覚えているので、私も自分より小さい子供たちにプロジェクトのことを伝え、身近なところから誰かの力になれるように過ごしていきたいと思います。



ご紹介

富谷高校 28 回生課題研究の取り組みが、

JA新みやぎ広報誌『新みやぎのわ・わ・わ』8月号に掲載されます！

収穫祭(課題研究発表会)で1~3位に輝いた生徒たちの活動について、JA新みやぎの広報誌『わ・わ・わ』8月号に掲載されることになりました。6月下旬に、15名の生徒たちが取材を受けました。班員の皆さん一人ひとりが行ってきた取り組みを紹介する記事になっています。ぜひご覧ください。